

武家の粋をかたどる兜

**兎耳形兜**  
うさぎみみのかぶと  
4代藩主山内豊昌所用、17世紀  
兎を模した変わり兜。  
武士にとって欠かせない武器・武具  
類は家ごとに由緒やデザインに特徴  
あるものが多いが、山内家は奇抜な  
デザインの兜が際立つ。



物に歴史あり、  
伝来の妙

**青磁蓮井文茶碗**

せいじれんべんもんちawan  
13-14世紀  
大陸産のこの茶碗。中世に交易品として渡来した  
ものの、何らかの理由で伊予国境に近い本川郷  
大川村の寺の床下に埋まっていたもの。  
元禄13年(1700)に偶然発見され、物珍しから  
藩主へ献上となり、船で再び江戸屋敷へ運ばれた。  
物に隠されたストーリーを知るのも、長い月日を  
経て今にある資料を楽しむ重要なポイント。



**万葉集古義**

まんようしゅうごぎ  
鹿持雅道自筆稿本、19世紀  
高知市指定文化財  
万葉集研究に生涯を捧げた土佐藩の国学者・  
鹿持雅道(かもちまさみち)の研究集大成。  
土佐藩の政治・文化の中心である藩主家には当時  
最先端の知識・文化や政治情報が集まり、ここに  
しかない本や手紙、記録類が目白押しだ。



記録の集積、知識の宝庫

優美な  
侯爵家のコレクション

**有職雛**  
ゆうしやくひな  
19世紀

伏見宮家から山内家17代豊景(とよかげ)へ  
嫁いだ禰子(さちこ)女王が持参した雛人形。  
維新後侯爵に叙せられた山内家には、明治  
以降の高知・日本の文化や歴史を伝える魅力  
ある資料も数多く伝わる。



みどころ満載、  
城博の  
収蔵資料

「大名道具」の風格

**桜花に孔雀**

おうかにくじく  
狩野晴川院筆、19世紀  
江戸時代、幕府や各藩に抱えられ  
ていた絵師を御用絵師という。  
この絵は当時の御用絵師集団の  
トップが描いたもの。殿様たちの  
心のツボをおさえた、豪華で威風  
凛々大作だ。

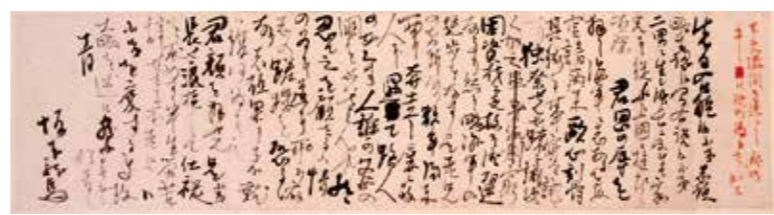


当事者が語る、リアルな歴史

**坂本龍馬書状**

さかもとりょうましょじょう  
満洲広之透宛、慶応2年(1866)  
迫田家資料

幕末のヒーロー、坂本龍馬が旧交の土にあて書いた  
手紙。脱藩後、故郷を思いつつも土佐藩の人たちと  
距離を置いてきた真意を綴る。  
くずし字が読めなくても、実物を目にすれば筆遣い  
などから龍馬の人格や思いが感じられるはず。



まだまだ尽きない 資料の魅力!

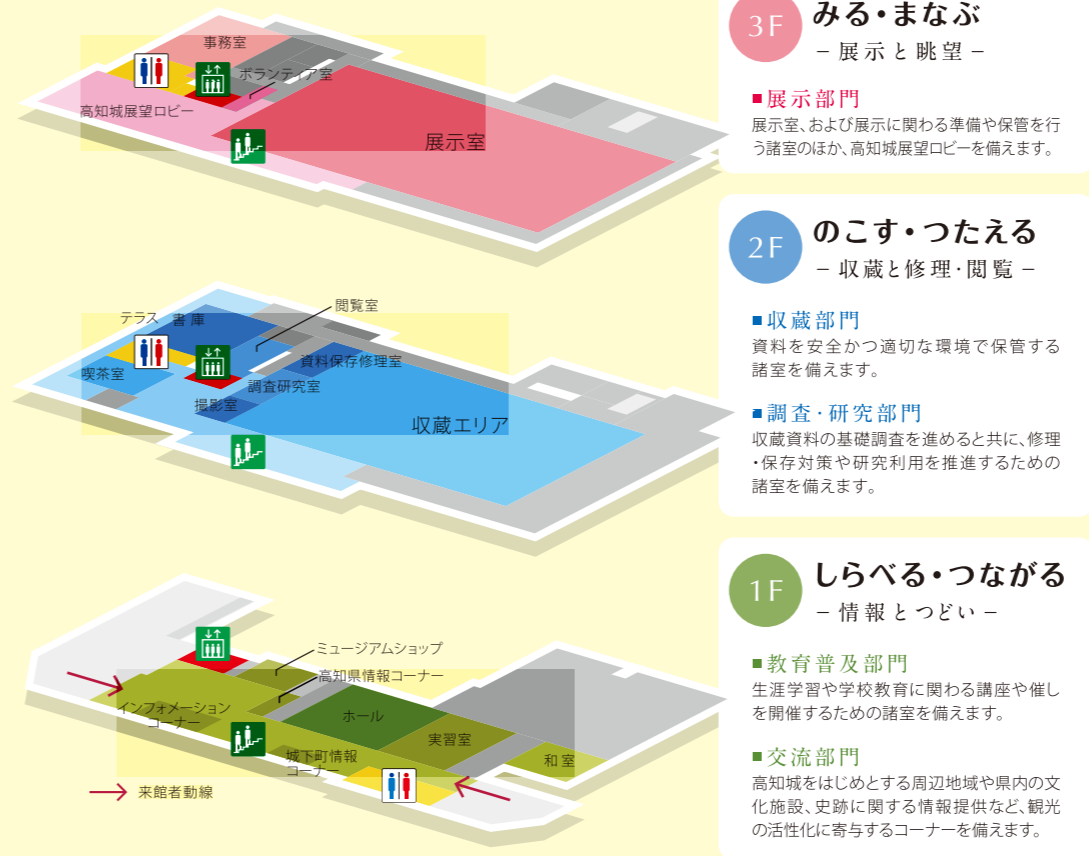
収蔵庫には、調査が進んでその魅力が発見される日待資料がまだまだ  
たくさん。特に近代以降の資料は、ほとんどが誰の目にも触れたことのない  
ものばかり。開館後は順次皆さんの前にお披露目していきます!



近代以降の資料の数々

展示や研究など  
多様な活動と交流を展開

博物館の機能【フロア図】



博物館の事業

- ◎ 保存 山内家資料や地域の歴史資料の保存・継承
- ◎ 調査研究 近世・近代史研究の拠点として学術研究を推進
- ◎ 展示公開 展示公開などによる全国発信
- ◎ 教育普及 生涯学習や学校教育の活性化
- ◎ 地域連携 歴史や文化を活用した地域振興・観光振興への寄与

第2号(夏頃発行)では、館内の見どころを詳しく紹介します。

博物館の周辺

かつて城下町として栄えた高知城歴史博物館の周辺には、隣接する高知城の  
ほかに多くの歴史・文化施設が立地しています。また、地元市民や観光客で  
にぎわう日曜市や中心商店街は、お食事やお買い物にも最適です。  
博物館を拠点に一日中高知の歴史や文化、にぎわいを満喫できます。

高知の  
見どころいっぱい!



第3号(秋頃発行)では、周辺の見どころを詳しく紹介します。

2017年(平成29)3月、オープン。



土佐と日本の歴史と文化を未来につなぐ  
土佐藩主山内家伝来の貴重な資料を守り伝えながら、日本文化の魅力を発信します。

本物に出会う感動、知る喜び  
子どもも大人も、みんなが楽しめる歴史と文化との出会いの場をつくります。

地域とともに…  
地域の博物館として、歴史と文化を活かした地域づくりに参加します。

高知城歴史博物館は、新しい博物館活動を展開します。



Kochi Castle Museum of History 2017 March OPEN.

高知県立高知城歴史博物館 オープン1年前プレイベント

高知城のふもと、いよいよ高知城歴史博物館がその姿をみせはじめました。  
開館まであと1年、高知の歴史文化の魅力やその可能性を改めて考えるためにプレイベントを開催します。

**公開シンポジウム**  
プレイベント  
第1弾 **文化と地域社会**  
—高知の可能性—

平成28年**3月6日**(日) [定員] **150名**  
13:30~16:30 / 開場13:00  
高新文化ホール [参加費] 無料  
高知市本町3丁目2-15

**第1部 ▶ 講演会**  
●「地域創生時代と文化政策」…………… 端 信行氏  
●「ミュージアムと地域社会」(仮)…………… 五月女 賢司氏

**第2部 ▶ 公開座談会**  
文化と地域社会—高知の可能性—  
端 信行氏(国立民族学博物館名誉教授、元文化経済学会会長)  
五月女 賢司氏(吹田市立博物館学芸員)  
海老塚 和秀氏(五台山竹林寺 四国霊場第三十一番札所住職)  
川村 慎也氏(四万十市教育委員会生涯学習課)  
早川 賢治氏(協同組合帯屋町筋次世代委員会委員長)  
松岡 和也氏(高知新聞社編集局長)  
渡部 淳 (土佐山内家宝物資料館館長)

**プレイベント**  
第2弾 **学芸員と歩く歴史散策会**  
江戸時代の景色が見えてくる!  
まちあるきの楽しみ

江戸時代の風景に思いをはせながら、城下の町並み、人物や事件に  
ゆかりの史跡、山内家墓所などをご案内します。  
案内役 土佐山内家宝物資料館 学芸員

**見学**  
コース 高知城追手門 → 追手筋 → 中ノ橋通 → 帯屋町 →  
→ 大橋通 → 天神大橋 → 築山

平成28年**3月13日**(日) [定員] 各部**40名**  
【午前の部】11:00~…………… 【参加費】 無料  
【午後の部】14:00~……………  
※所要時間 1時間30分~2時間程度

**同日開催!** 伝統芸能実演会  
お城下で見る  
土佐謡 [その3]  
高知県を代表する伝統芸能の1つ「土佐の太刀踊」(高知県指定無形  
民俗文化財)の実演を行います。  
【午前の部】10:30~11:00 参加費無料・申込不要  
【午後の部】13:30~14:00  
会場 高知城追手門広場 ご自由にご覧いただけます。

**お申し込み方法**  
参加希望の方は、電話・FAX・ハガキのいずれかで住所・氏名・参加人数・電話番号をお知  
らせください。折り返し整理券をお送りいたします。  
※散策会は平成28年2月26日申し込み締め切り(定員に達した場合は抽選、当選結果は整理券の発送をもって代させていただきます)。

**お問い合わせ・お申し込み**  
土佐山内家宝物資料館  
〒780-0862 高知市鷹匠町2-4-26  
tel / fax 088-873-0406

高知城歴史博物館は2017年(平成29)3月にオープン予定です。

高知県立高知城歴史博物館 プレ広報誌  
第1号(全4号発行予定)

発行日:平成28年2月15日  
発行元:公益財団法人 土佐山内記念財団  
〒780-0862 高知県高知市鷹匠町2-4-26  
TEL/FAX 088-873-0406

ウェブサイトオープン!  
www.kochi-johaku.jp

高知城歴史博物館 検索

(本誌はホームページからもダウンロードできます)  
●本誌掲載の記事、写真の無断複写・複製を禁じます。

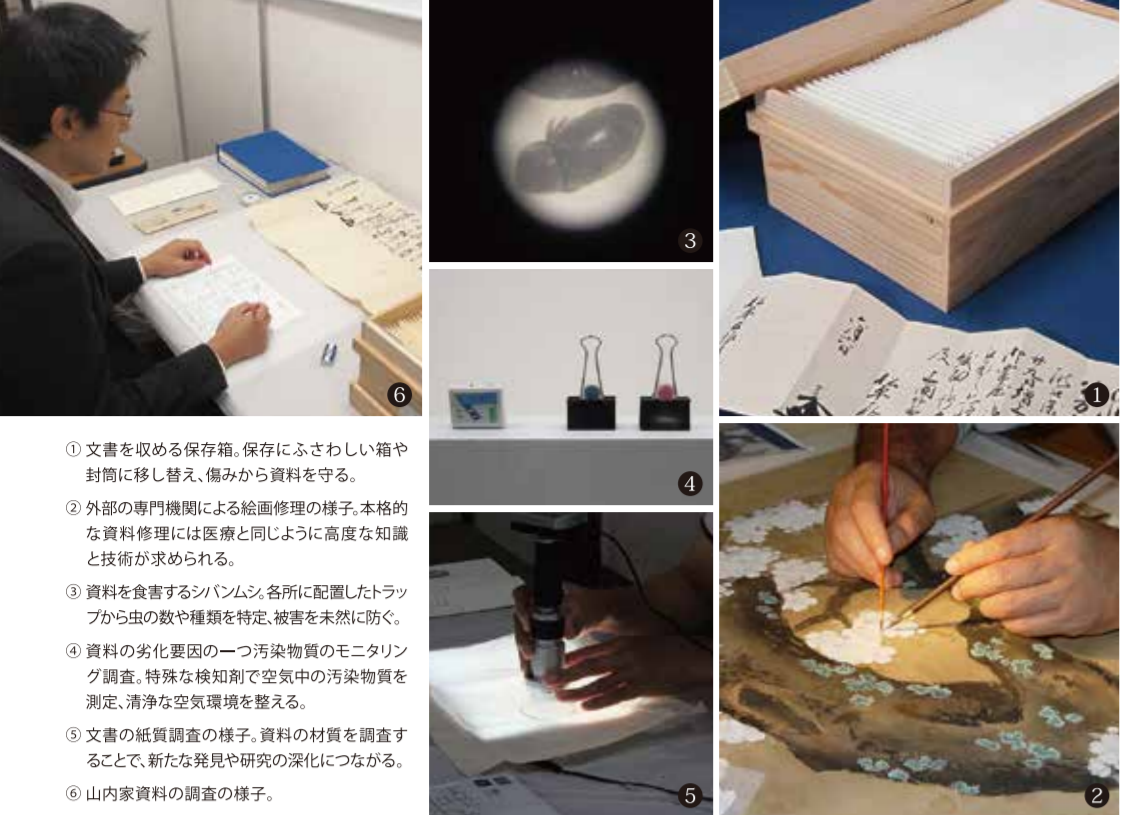
高知県立高知城歴史博物館 プレ広報誌  
第1号  
【無料】

2017年3月、オープン。

はじまる。

高知県立  
高知城歴史博物館  
Kochi Castle Museum of History

高知城のふもと  
—  
新たな文化と交流が  
この博物館からはじまります。



- ① 文書を収める保存箱。保存にふさわしい箱や封筒に移し替え、備みから資料を守る。
- ② 外部の専門機関による絵画修理の様子。本格的な資料修理には医療と同じように高度な知識と技術が求められる。
- ③ 資料を食害するシロアリを各所に配置したトラップから虫の数を種類を特定。被害を未然に防ぎ。
- ④ 資料の劣化要因の一つ汚染物質のモニタリング調査。特殊な検知剤で空気中の汚染物質を測定。清浄な空気環境を整える。
- ⑤ 文書の紙質調査の様子。資料の材質を調査することで、新たな発見や研究の深化につながる。
- ⑥ 山内家資料の調査の様子。

事業クローズアップ  
城博を舞台に、はじまる。  
【第1回】  
基礎事業編

# まもる つたえる

— 城博の保存と調査研究活動 —

資料を安全に迎え入れるため、細心の注意を払いながら工事が進む城博の収蔵庫。湿度・化学物質など、様々な要因から資料を守るための最新の技術が満載だ。ここを舞台にした「はじまる。」をクローズアップ。

世界には様々な博物館がありますが、共通するのは「ここ」にしかない貴重な資料や未来に伝えたい物を保管しているということ。資料あふめる博物館だからこそ、活動紹介は収蔵資料と接する仕事から出発します。館を見えないところで支える、いい仕事の数々をご覧ください。

見えないところに、いい仕事があります。

## まもる 保存部門

学芸員は資料のホームドクター。保存と活用のバランス調整が仕事の本質。

城博には高知県で唯一、資料保存を専門とする学芸員がいます。紙や木が多く使われる日本の歴史資料は繊細で、数百年の時を経てわずかな環境の変化でも傷みの原因に。展示などの活用と両立させるため、保存担当の仕事は多岐にわたります。

### 診断

まずは資料の状態を知るところから。どこにどんなダメージがあり、何が原因なのかをひとつひとつ記録します。これはいわば資料のカルテ。今後の対策を考えるための基礎データとなります。

### 予防

環境を整え、見守ります。薬に類する虫やカビから守るためには、日頃の手入れや環境管理が重要。資料の受け入れ段階で展示台出庫時の移動ルートまで、温度や湿度の管理を徹底し、安全を見守ります。

### 修理

根本的な治療には、細心の注意をはらって。傷んでいる資料には、修理や修復などの保存処置を行います。診断に基づき、今すべき最善の対策を考えます。

## つたえる 調査研究部門

なぜいつまで？ 目録作りは資料と対話し、真価を引き出す腕の見せ所。収蔵庫で光もあらず、誰にも触れずのままに保管しておく。いつの日か、資料の意義や存在が忘れられ、ひたすら物があるが何の意義があるのかを知らず、現在や未来の人達へ伝えるのが調査研究活動の役割です。完成した資料目録は同じような情報が見えませんが、実は随所で資料の特徴を見え、注目を集めていく。アクリル製、学芸員の技が光ります。

## もつたえたい、資料の魅力

城博では資料目録を中心とする調査研究情報を、従来の刊行物に加え、インターネット上でも公開できるように準備を進めています。詳細はホームページでお知らせします。

# いよいよ出現!! 高知城歴史博物館。

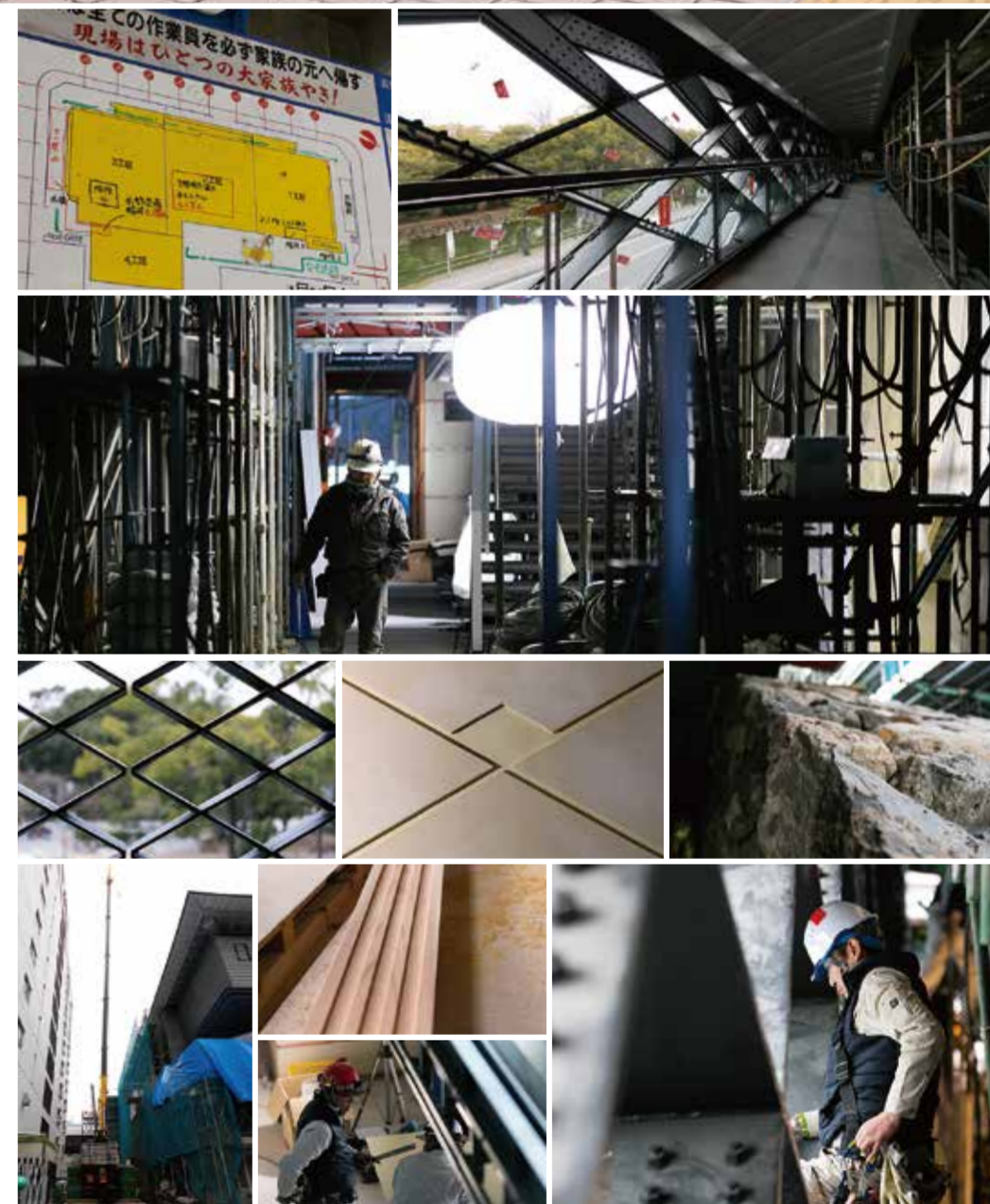
お城を見上げる博物館

建物内から眺める南海の名城「高知城」は、県外からの観光客はもちろん、お城を見慣れている高知県民にも新鮮に映るはず。



## 歴史を守るために生きる技と工夫そして、未来へ

今も昔も大きな建築物には大勢の人の手が必要です。高知城歴史博物館は貴重な歴史財産を守り、それを未来に伝える重要な役割を担っています。そのために建築には多くの人の手とこだわりや工夫が込められているのです。



### 私が設計しました。

■設計者  
松尾 和生さん 株式会社 日本設計

高知城追手門前に相応しく、歴史、伝統を感じながらも近代的なイメージが融合したつくりとなっています。重量感と浮遊感を併せもち、1階柱頭免震に浮かぶ宝船。高知の持つ6万7千点の貴重な歴史の宝を大切に守り続ける堅牢な船といったところでしょうか。訪れる人たちに歴史的感動を与え続ける博物館であり続けて欲しいですね。

### 間もなく、完成します。

■現場担当者  
小曾 昌一さん 清水建設株式会社

徐々に足場も取り払われて道行く人々の目にもとまる様になり、竣工まで間もなくです。追手門や高知城にひけをとらない威容を誇る外観、県産材(木材、石、漆喰)をどう使ったかも見えていただきたいところですね。この建物に関わった人々は我が子を育てるが如く想いを注いできました。高知の人々にとどまらず世の中の人々に愛される建物になってもらいたいと思います。

高知城歴史博物館 建築工事関係事業者

- 日本設計・若竹まちづくり研究所共同企業体
- 清水・轟・入交特定建設工事共同企業体
- 大東・四設特定建設工事共同企業体
- 富士古河E&C・宮崎造作特定建設工事共同企業体
- 昭栄設備工業株式会社
- 日本エレベーター製造株式会社



## 資料クローズアップ

# こんなもの あります

【第1話】  
ここがすごいんです



博物館に集められたモノは「資料」「文化財」と呼ばれます。「資料」といわれたモノと「文化財」と呼ばれたモノ、その違いは「文化財」についてなんかもさずかたう。そう感じるのは、モノたちが言いたいことを山ほど抱え込んでいるからかもしれません。そんな彼らの声を聞く「資料クローズアップ」。今回は、高知城歴史博物館の国宝・重要文化財が語る「ここがすごいんです」どうぞお聞きください。

## 国宝 古今和歌集巻第廿(高野切本)

今から1000年前の作品。日本人が中国の漢字を取り入れて1000年、日本語日本人の個性に合わせて、ひらがなを考案して、日本語が書けるようになった。それが、この「高野切本」だ。本文が書かれたのは平安時代中期、左側の少し太い文字は、その50年後の戦国時代、時の天皇が鑑賞記念に書いたものと見えて、今日まで二人が一体、来たのだろうか。

これがあの「太閤検地」だ! これより六尺二寸板一冊の重さ(約1kg)の重さで、6尺3寸に縮小された。

重要文化財  
長宗我部地検帳  
浦戸城にも山内重豪が関係していた。修理を加えながら高知城の館の中で丁寧に保管されている。

重要文化財  
一國兼光  
名工藤兼光の作。元代土佐藩士内忠義が、土佐に引き寄せられて手放さないと誓ったといわれる。

美しいです  
すいこまれの  
すいこまれの

かなの美の完成体

重文ではないけれど...  
すい腕の守り人  
鎌付きのクニス掛帳(徳川家康ほか将軍から左藩主あての公文書22冊が通覧されていた。文書係の役人かつけた掛帳から、当時の保管の厳重さが伝わってくる。)

400年前の土佐まるっと368冊

重要文化財  
長宗我部地検帳  
浦戸城にも山内重豪が関係していた。修理を加えながら高知城の館の中で丁寧に保管されている。

情報が宝庫です  
長宗我部親が作成した土地台帳。浦戸城にも山内重豪が関係していた。修理を加えながら高知城の館の中で丁寧に保管されている。

これがあの「太閤検地」だ! これより六尺二寸板一冊の重さ(約1kg)の重さで、6尺3寸に縮小された。

これがあの「太閤検地」だ! これより六尺二寸板一冊の重さ(約1kg)の重さで、6尺3寸に縮小された。